

---

# 星矢君と愉快的仲間達

翔

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

星矢君と愉快的な仲間達

### 【Nコード】

N8507A

### 【作者名】

翔

### 【あらすじ】

星矢くんと変人たちが織り成すハートフルコメディー！

## 新学期（前書き）

完全見切り発車です。コメディーのはずなのにつまらないオーラがひしひしと感じられます。そんな駄文ですが、読んでいただけたら幸いです！

## 新学期

ピピピピピ...

目覚ましの電子音が鳴り響く。強制的に目を覚まされたオレは

「シャーラップ!!」

と叫び、目覚ましにチョップを食らわす。不機嫌なまま上半身だけ起こし、ぼーっとしていた。

「ちよつと!!星にい!!」

パンツ!とドアを開け、叫ぶ我が妹。ちなみにオレの名前は夜野星矢という。妹は月魅。肩まで伸ばした茶色っぽい髪を後ろでまとめ、まだパジャマを着ている。

「んあ?なんだよ、朝っぱらから...」

欠伸を噛み殺しながら聞いてみる。

「いないのよ!どこにも!パパとママが!」

「あつそう。そんなこと...ええええ!?!」

慌てて下に降りてリビングに入る。確かにいつもいる二人がいない。代わりに、封筒と手紙が置いてあった。

「星にい！読んでみよ！」

オレは急いで広げ読みはじめる。

- - - - -

おはよー 愛しの我が子たちよ！いきなりで悪いのですが、昨日の夜、会社の社長から電話がきて、

「会社経営飽きた！あとよろしくっ」

だそうなので、ちよっくらアメリカへ行つてきます 母さんも行きたいそうなので、連れていきます しばらくは帰つて来れないので、留守番よろぴく！生活費モロモロは通帳を預けておくので引き出して使いやがれ！ご利用は計画的に んじゃいつてきますう

- - - - -

こんなツツコミ所満載な手紙だった。封筒には通帳と電話番号が書いてある紙が入っていた。あっちの電話番号らしい。社長いいかげんだな…

「音符書きすぎだっつーの！」

そこ！？ツツコミとこそどこですか！？

「それより、星にいお腹空いたあ！朝ごはん食べよ」

そう満面の笑みで言うけれど、

作るのはオレだよ？そこんどこわかつ

「はやくー！」

…ハイハイ。弱いな、オレ…

簡単な朝ごはんを作り、二人で食べる。

「いやあ〜いい仕事してますな」

早くもこの状況に慣れてる我が妹。うまそうに焼き魚をばくつく。  
普通両腕が出ていったら寂しがるだろうに…

「寂しくないのか？」

「うん？だつて星ににいるし。これで心置きなく旨い飯が食えるっ  
てもんよっ！」

「ならいいんだけどさ。」

色気より食い気つか。さすがあのクレイジー男&女の子供だぜ。

…オレもじゃん…！

さて、オレ達は普通通りに学校の用意をして家をでる。

ん〜いい天気だあ〜

かるく肩を回し、屈伸をする。時計をみると7時である。もうそろ  
そろやつが…

「せえゝいゝやあ！（@><@）ノ」

でた。変質者。顔文字つかってんじゃねえよ。変質者こと神崎麗奈は長い黒髪を靡かせ、一直線に走ってくる。麗奈は女なので、並の男なら、喜ぶ場面だろうが、オレは違う。回していた腕を振りかぶったままとめ、タイミングを合わせ振り下ろす…バキヤツ！

「ふんごお！？」

やったあ 麗奈が地面にKISSしたよお ひどい？自己防衛さ

むくつと顔をあげると麗奈。

「星矢…お前いつからそんな趣味が…！？」

いやねえし

「んじゃ学校行こ」

妹の一声でオレ達は麗奈を置いてすたすた歩く。

「まっまってくれ！二人ともっ！」

追い付いた麗奈は、月魅と話している。なんだかんだいつて仲いい二人だ。

「麗奈先輩！ウチの両親いなくなっちゃった」  
「嬉しそうだなオイ。」

「よかったじゃないか！念願が叶って！」  
「願ってたの！？」

「はいっ これであの家は私のものですっ！」  
「腹黒っ！」

「星矢を奴隷にできるとは。うらやましいかぎりだ。」

オレ奴隷!?

「違います!星には不可触賤民ですつ!」

いやそれ知ってる人限られるから!しかも奴隷よりも酷いからね!?

「そうだったな。すまんすまん。」

納得すんじゃねえ!

「月ちゃん、それはひど過ぎるよ?」

うん!そうそう!...え?

「あ、颯先輩」

月魅に声をかけたのは谷口颯オレの幼なじみだ。ちなみに超美形。

「おはよ!また星矢はいじられてんな?」

ポンポンとオレの右肩をたたく颯。

「いじられてうれしそうだなあ」

ポンポンと左肩をたたく月魅。

「このドM」

ペシベシと頭をたたく麗奈。

オレは頭を後ろに振りかぶる...ガンッ!

「ふがあ!?!」

麗奈ちゃん鼻血ブーだね あれれ?月魅ちゃんが逃げちゃった

よお?(名探偵コン風)

「はあ...毎度毎度よくあきないな...行こうぜ。」

颯は地面に寝そべる麗奈の襟首を掴むとズルズルと引きずりながら  
校舎へ向かう。

いよいよ二年かあ...あ、高校ね。

「月!なにやってんの?はやくしろよ!」

こうしてオレの新生活は始まった。



## 新学期（後書き）

感想、ご意見等お待ちしております！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8507a/>

---

星矢君と愉快的仲間達

2010年10月22日00時18分発行